



春のうららの未丈祭り

毛猛山塊

未丈ヶ岳 山スキー

坂村

【日時】 2014年4月12日（土）～ 4月13日（日）

【メンバー】 L田辺、長谷川（じ）、矢野、坂村、田宮

春。奥只見丸山スキー場のリフトは8時に営業を開始する。5人の大人達は、一番に乗るべく7時半からやる気マンマンな格好で乗り場前で構えていた。

4月12日（土）晴れ

リフトを2回乗り継ぎ山頂リフトを横目で見ながら、かうのき沢源頭でシールを貼る。この辺りの景色の広がりには素晴らしいが、小さなポコがポコポコしていて地形図を見てもなんだかよく分からない。進路を西に取り、まずは1210の台地に乗る。ここから北西にある1270Pに上がる。あとで地形図を見るとなるほどと思うルート取りだ。細い稜線を慎重に北西に進み、1288Pに続く稜線に乗った。この稜線は比較的広く、雪が緩んできたせいもあって歩きやすかったので、周囲の広大な遊び場を観察しながら歩を進めた。1288Pは滑って楽し

そうなピークだったが、今回は先が長いので登りは1240付近までとし、滑る準備に取り掛かる。ここからは北尾根を滑って大鳥沢に出る。出だしは緩くて雪の状態も良く、思い切り滑れたが、途中から雪の状態があまり良くなり、転ぶと雪と一緒に少し流



未丈ヶ岳に向かって歩く

された。そして案の定下に行けば行くほど難しい雪となり、慎重さを要求された。大鳥沢には枝沢からの大きなデブリがあったので、それを避けた安全な場所での登り支度となった。

ここからせいの沢右岸尾根に乗り、未丈ヶ岳山頂を目指す。出だしから暫くは重い湿雪で先頭は大変だ。森は間隔の広いブナ林で雰囲気がとてもいい。是非いい雪のときに滑りたいが、明日滑る頃は雪悪いだらうなあと思いながら歩く。1280Pを過ぎると木がまばらになり、冷風が吹き抜けるため雪が硬く、クトーを装着しての登りとなった。

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>

日射や気温などの様々な条件が重なったおかげだろう。未丈ヶ岳は美しく輝き、私たちに誘う。山頂では時折強い風が吹いていたが、どこを見ても素晴らしい眺めで、ここに立つことができると良かったと思わせてくれた。

さて、重い荷を担いでの登りで体は疲れていたが、今日はまだ終われない。荷物をデポって赤柴沢源頭を滑るのだ。山頂付近はガリガリでターンが全く決まらなかった。沢はどうかと行って見たが、これまたガリガリで、そのうえ傾斜もあるのでさすがに危険を感じる。未丈ヶ岳に何度も来ている田宮さんの判断で北向きの赤柴沢より東向きの滝沢源頭の方がまだマシだろうということになり、行ってみるが、やはりガリガリ…。今日はどこもダメだということになり、尾根を100m滑っただけで本日の滑走は終了とした。

4月13日（日）晴れ

夜は時折強い風が吹いていたが、朝にはピタッと治まった。今日は滝沢を分ける中間尾根をピストンして滑りを楽しむだけ楽しんで帰るプランだ。



せいの沢右俣の滑降を楽しむ

ガリガリ君はもう嫌なので、滑り出しはゆっくりめの8時半。雪は硬いが昨日よりはマシでなんとかターンができる。そして高度を下げるに従って、素直に板を回せる素晴らしい雪に変わった。うっひょー！これはいいと言いながら下降すること300m。まだまだ行きたいところだが、帰りの時間もあるのでここまでとして滑った分だけ登り返す。

帰り支度を整え、未丈ヶ岳への未練を断ち切って出発したのが10時過ぎ。せいの沢右俣の広大な斜面が良さそうだったのでそこを少し滑って登った尾根に乗ろうということになった。せいの沢右俣はクラックもなく雪の硬さも丁度よく、吸い込まれるようにガンガン滑れる。こうなったらもう止

まらない。欲望に身を任せて行っちゃいそうになる私をリーダーが「そろそろ尾根に乗るよ」と冷静な声で嗜める。沢も素晴らしかったが、尾根もまたいい雪で、とにかく楽しい帰路となり、あっという間に大鳥沢に下りた。

未丈ヶ岳からの下りの途中で雪の付き方を確認し、スキー場までの登りはかうのき沢を詰めることになった。デブリを避けながら大鳥沢を下り、かうのき沢に出合う。ここでは水が出ていたが、問題ないと判断し、かうのき沢に入る。恐ろしげなデブリ跡がそこかしこにあったが、水を飲みにきていたカモシカや猿たちの姿に心癒されつつ歩を進めた。750付近で滝が出ていたので、安全そうな枝沢に入り、1225P北尾根に乗ることになった。枝沢に入って30分くらいしてからだろうか、かうのき沢750付近に向けて側壁上部から雪崩が発生し、その音に驚いた。規模は小さかったが、そこにいたら多少の被害はあったかもしれない。



かうのき沢出合付近

1225Pに乗ると奥只見丸山スキー場のゲレンデが見えた。ピークでは雪が切れていたので一部板を外して藪を渡る場面もあった。ここからは稜線を行ったのだが、次のピークには雪庇がせり出してとても行けそうになかったので、途中から稜線を外してトラバースすることになった。そして最後のお楽しみの滑りを終え、かうのき沢を渡り、ゲレンデに合流した。

【行程】4/12 リフト終着地 (8:15) ~ 1288P手前1240付近 (10:30) ~大鳥沢 (11:30) ~

未丈ヶ岳 (14:45)

4/13 未丈ヶ岳 (10:10) ~大鳥沢 (11:10) ~かうのき沢出合 (11:30) ~
1225P (14:00) ~リフト乗り場 (15:00)

【地図】 奥只見湖、未丈ヶ岳